

## 学習指導案（国語・漢詩）

- 1 対 象 2年1組 33名（男子17名、女子16名）
- 2 日 時 9月17日（金）第4校時
- 3 場 所 教室
- 4 単元名 「いにしえの心を訪ねる 漢詩の風景」（国語2、光村図書）
- 5 単元について

### （1）単元目標

- ・漢詩の言葉遣いや調子を味わう
- ・漢詩に歌われている情景を想像し、いにしえの人の心情に触れる

### （2）教材観

本単元は、盛唐期の漢詩3編を扱う。3編の詩はそれぞれに風景を描く部分と心情を描く部分があり、描かれている情景はとらえやすいものと考えられる。音読を通して漢詩のリズムに親しむとともに、「春曉」では自然に親しみ世俗と離れた視点を持つ孟浩然の心情、「絶句」では成都の風景と帰郷を望む杜甫とのかかわり、「黄鶴楼」では親しい友人との別れと自然の雄大さをそれぞれ感じさせたい。

### （3）生徒観

2年1組の生徒は明るく、授業に対しては意欲的に参加し、グループワークにおいてもしっかりと考えて自分の考えを持つ生徒が多い。しかし、グループワークの際にグループのほかの生徒に任せきりになる生徒や、発問の難易度によっては考えることを放棄する生徒もいる。そのため、グループ全体で協力して取り組むことのできるような発問や声掛け雰囲気づくりを心掛ける必要があると考えられる。

### （4）指導観

まずは、3編の漢詩を繰り返し何度も音読させ、漢詩のリズム感や、そこから伝わる情景などをとらえさせたい。また、単なる現代語訳や場面を想像するということにとどまらず、作者の状況や時代背景を踏まえて深く漢詩を味わわせたい。

6 単元の評価規準

A 知識及び技能	思考力・判断力・表現力等			E 学びに向かう人 間性
	B 聞くこと・ 話すこと	C 書くこと	D 読むこと	
① 漢詩の解釈を根拠を持って行うことができる。		② 自身の解釈を作者の視点で描写することができる。	① 漢詩の表す情景や風景を読み取ることができる。	① 作者との関連も踏まえて漢詩に対してより深い考えを持つようとしている。

7 単元の計画（総時間 4 時間）（単元の目標を達成するために指導計画を示す。）

時	学習活動
1	3 編の漢詩を音読させる。 漢詩の共通点を考えさせる。
2	「春曉」の音読を行う。 「春曉」の内容把握を段階を踏んで行う。
3	「春曉」の音読を行う。 「春曉」の作者の心情を考えさせる。 「絶句」の導入を行う。
4	「絶句」の音読を行う。 「絶句」の現代語訳を確認する。

8 授業案（第4時）

(1) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点(●)、評価基準(△)
導入 10分	1、グループに分かれる。 2、絶句の音読をする	●読むときにイメージを膨らませたり内容に意識を向けさせる ●音読の際に全体やグループ、個人とばらつかせることによって飽きを防ぐ。
展開 計40分	目標を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             目標：「絶句」の現代語訳に挑戦しよう           </div> 3、起句、承句の現代語訳を考える。 1句目の訳を確認する 国語辞典と漢和辞典を使い、わからない単語などは調べる。 グループワークで相談しながら考える。 2句目の訳を確認する 国語辞典と漢和辞典を使い、わからない単語などは調べる。 グループワークで相談しながら考える。 「然」の意味について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             発問：「然える」ってどういう意味？           </div> 前半2句の訳を全体で確認する。 5、転句、結句の現代語訳を考える。	△〈知識及び技能〉根拠を持って漢詩の解釈を行うことができる。 ●ホワイトボードを使い生徒の意見を共有する。 ●本文のことばを離れないように解釈させる。 ●机間巡視を行い、取り組んでいない生徒への声掛けを行う。 ●「然」を「燃える」と解釈している生徒を見つけておく。 ●共有の際に新たな疑問が出たら確認する。 ●ホワイトボードを使い生徒の意見を共有する。

	<p>3 句目の訳を確認する。        国語辞典と漢和辞典を使い、わからない単語などは調べる。        グループワークで相談しながら考える。</p> <p>「看す」について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文のことばを離れないように解釈させる。</li> <li>●机間巡視を行い、取り組んでいない生徒への声掛けを行う。</li> <li>●「看」と「見す見す」を調べている生徒を見つけておく。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">         発問：「看す」ってどういう意味？       </div>		
<p>まとめ 5分</p>	<p>7、次時の予告を行う。        転句と結句で作者はどのような状況なのか考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「看」と「見る」の関係について生徒に調べさせつつ確認する。</li> <li>●生徒の理解が進んでいない場合、「帰年」に焦点を絞って意味を考えさせる。</li> <li>●共有の際に新たな疑問が出たら確認する。</li> </ul>

漢詩の風景・ワークシート④ ( )組( )番( )

絶句

杜甫

江は碧にして鳥は逾よ白く  
山は青くして花は然えんと欲す

江 碧 鳥 逾 白 く  
山 青 花 欲 然 然

一句目

二句目

又

こんしゅんみずみ まだす  
今春看す又過ぐ

いづれ ひ こ き ねん  
何れの日か是れ帰年ならん

こんしゅんみずみ まだす  
今春看す又過ぐ

いづれ ひ こ き ねん  
何れの日か是れ帰年ならん

三句目

四句目

五句目